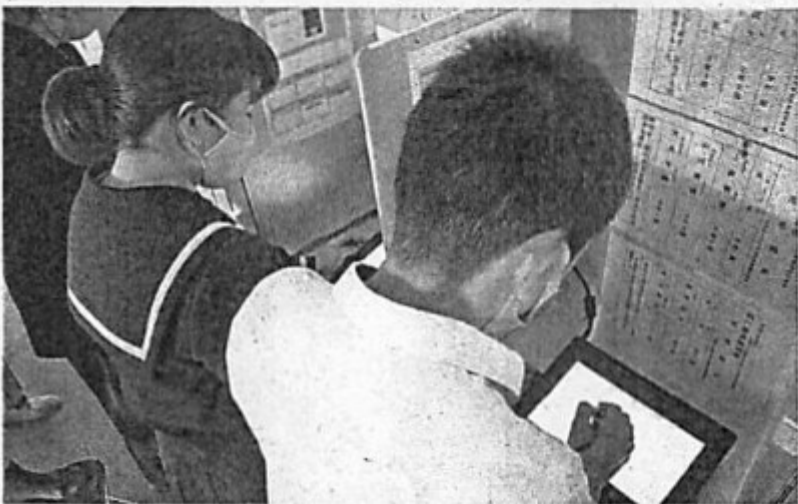
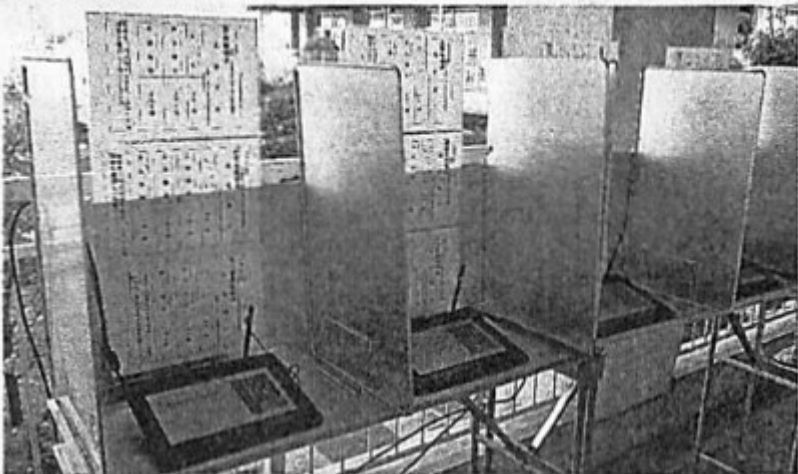


天理・西中の生徒会役員選挙 タブレット投票を実施

液晶ペンタブレットを使って投票する天理市立西中学校の生徒たち
|| いずれも天理市二階堂上ノ庄町



天理市立西中学校の生徒会役員選挙に使われた記載台とタブレット



天理市立西中学校で12日、液晶ペンタブレットを使った生徒会役員選挙があった。生徒たちは使い方を教わりながら、楽しそうに投票していた。

まずは会長候補の2人（当選1人）、副会長候補の3人（同2人）、執行委員候補の2人（信任投票）が、応援弁士とともに放送室で順に演説。ほかの生徒たちは各教室のテレビで視聴し、笑ったり拍手したり。そのあと、校舎の1階から3階までの通路

に4台ずつ設置されたタブレットを使い、投票していった。2年生の小林輝夏君は「選ぶだけだから速いし、楽しかった」と話した。

電子投票システムの開発に取り組む企業で今回の選挙に協力したワコムによると、タブレットでのこうした投票は日本で初めてという。

もともとこの中学校では2015年から、生徒会役員選挙に実際の選挙で使う記載台や投票箱、計数機に

投票用紙を使ってきた。16年に18歳から公職選挙に参加できるようになるのを受けて、天理市選管が「中学生に選挙を身近に感じてもらいたい」と提案したのがきっかけだった。

また同時に「女子生徒の靴下の色として白・紺・グレーを可とすることについての投票」もあり、女子が紙で投票した。賛成が210票、反対が11票。現状の白のみから選択の幅が広がった。

（篠原大輔）